

PRESIDENT'S MESSAGE



1.アフリカ視察中、アナ・マリア・アレツォ・クリシオーネ夫人と共にナイジェリアでロータリアンの歓迎を受ける。 2.エチオピア訪問の締めくくりに、若手サッカー選手たちとキックアウト・ポリオのイベントに参加。 3.インド・チェンナイで、会長のそっくりさんたちと対面。 4.チェンナイでのロータリー行事にて、会長エイドのジョン・デ・ジョルジオ氏とパートナーのモニク・チェンバース氏と、和やかなひとときを過ごす。 5.ナイジェリアでの植樹



7



8



9



10

この勢いを次年度へ

国際ロータリー会長としての任期を終えるに当たり、世界中のロータリーファミリーの皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまの優しさ、温かさ、そして献身は、私の人生に大きな変化をもたらしました。

この1年、私は国連発祥の地サンフランシスコから、ナイジェリアの革新的なロータリークラブに至るまで、世界各地を訪れる機会に恵まれました。どこでも、ロータリー会員とパートナーが手を携え、持続可能な良い変化を生み出している姿を目の当たりにしました。

そこから導かれるのは、シンプルな真実です。ロータリーは「出席する場」ではなく、「実践する場」であるということ。私たちは傍観者ではありません。行動し、その積み重ねによって、地域社会と自分自身を変えていくのです。

これからも活動を続けるに当たり、平和が根付く環境づくりに焦点を当て続ける必要があります。ロータリーは、本質的には平和を生み出す仕組みです。しかし、それを機能させ続けるには、明確な意識と揺るぎない意志、そして地道な努力が欠かせません。

ポリオ根絶に向けた取り組みも、今まさに同じ決意が求められています。最後のマイルは最も困難とされますが、世界の子どもたちの約束を果たさないわけにはいきません。

よいことのために手を取りあう時、どんな困難も乗り越えられることを、皆さまは実証しています。勇気と思いやり、そして誰もが安全で豊かに暮らせることへの揺るぎない決意を胸に、この勢いを次年度へとつないでいきましょう。

フランチェスコ・アレツォ

2025-26年度 国際ロータリー (RI) 会長

6.ウガンダの母子保健プロジェクトでテープカット。 7.ブラジルにて、ロータリー青少年交換学生とホルガー・クナーク財団管理委員長と。8.チェンナイで、第3234地区(インド)による、女性に電動人力車を提供し生計確保と経済的自立を後押しする取り組み「ピンク・オート・プロジェクト」の立ち上げを支援。 9.今月、台湾・台北で開催されるロータリー国際大会の本会議場を視察。 10.チェンナイでアナ夫人と共に